



平成 24 年 8 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 24 年 7 月 12 日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社サダマツ

コード番号 2736 URL http://www.sadamatsu.com

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 貞松 隆弥

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 磯野 紘一 (TEL) 03 (5768) 9957

四半期報告書提出予定日 平成 24 年 7 月 13 日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 24 年 8 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 23 年 9 月 1 日～平成 24 年 5 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 8 月期第 3 四半期	5,686	5.9	109	△21.7	73	△33.6	△6	—
23 年 8 月期第 3 四半期	5,371	0.4	140	96.3	110	230.4	40	—

(注) 包括利益 24 年 8 月期第 3 四半期 △4 百万円 (—%) 23 年 8 月期第 3 四半期 21 百万円 (—%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24 年 8 月期第 3 四半期	△0.56	—
23 年 8 月期第 3 四半期	3.63	3.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24 年 8 月期第 3 四半期	6,035	1,303	21.4
23 年 8 月期	5,809	1,324	22.7

(参考) 自己資本 24 年 8 月期第 3 四半期 1,289 百万円 23 年 8 月期 1,316 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23 年 8 月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24 年 8 月期	—	0.00	—	—	—
24 年 8 月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想の修正有無 : 無

3. 平成 24 年 8 月期の連結業績予想 (平成 23 年 9 月 1 日～平成 24 年 8 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	7,800	3.9	300	23.9	240	23.2	100	2.6	9.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信（添付資料）3 ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24 年 8 月 期 3 Q	11,387,000 株	23 年 8 月 期	11,387,000 株
24 年 8 月 期 3 Q	290,167 株	23 年 8 月 期	289,480 株
24 年 8 月 期 3 Q	11,097,517 株	23 年 8 月 期 3 Q	11,097,520 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2 ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として個人消費や企業の生産活動に緩やかながら回復の兆しがみられたものの、欧州債務問題の再燃による世界経済の下振れリスクや電力供給に対する懸念等、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

流通業界におきましては、昨年の震災の影響による消費落ち込みの反動やエコカー補助金などの政策支援の効果もあり、一定の消費マインドの改善がみられたことから全体としては底固く推移しました。

このような経済環境のもと、当第3四半期連結累計期間における当社グループは、新しい企業ステージに向けた「成長フェーズ」の転換期として、将来の成長・発展への基盤作りに重点を置いて事業を推進してまいりました。

主要事業部門となる㈱サダマツでは、テレビコマースの放映を皮切りに、ソーシャルメディアの活用強化や基幹ブランドとなる「フェスタリア ビジュソフィア」のリニューアルイベントの開催など、“絆”の象徴となるジュエリーの本質的な付加価値の訴求とブランド認知度の向上を目指し積極的なプロモーション活動を展開しました。さらに、CRMの継続強化やプライダル需要への対応強化に向けた販売スタッフの教育育成を実施し、集客力と販売単価の向上による売上拡大を図りました。店舗展開においては、当第2四半期累計期間までの4店舗に加え、3月にアウトレット業態で3店舗目となる三井アウトレットパーク多摩南大沢店、4月に広島県初出店となるゆめタウン広島店の2店舗を新規出店し、当第3四半期累計で国内6店舗の新規出店を果たしました。このような取り組みを推進した結果、当第3四半期末の国内店舗数は前年同期末に比べ4店舗増加の79店舗となり、国内売上高は前年同期に比べ308百万円増加の5,622百万円となりました。

利益面につきましては、主な原材料となる金の価格が引き続き高値圏で推移するなどのマイナス要因はありましたが、ベトナム子会社の有効活用により製造原価の低減を図ったため、粗利率を前年同期と同水準に維持することができました。この結果、売上総利益は前年同期に比べ増加しました。一方、成長戦略を支えるための人的補強やプロモーション活動への積極的な投資により販売費及び一般管理費が前年同期に比べ増加したため、営業利益及び経常利益は前年同期を下回る結果となりました。また、当期純利益につきましては、法人税等において法人税率の変更に伴う影響額を計上したことなどにより6百万円の損失となりました。

海外小売部門である在台湾子会社の台湾貞松股份有限公司（日本名：台湾貞松㈱）に関しては、親会社㈱サダマツのブランド戦略の波及効果を追求した活動を進め、引き続き海外展開への基盤作りとして台湾国内でのブランド認知度向上に注力いたしました。海外生産部門である在ベトナム子会社のD&Q JEWELLERY Co., Ltd.（日本名：㈱ディーアンドキュー ジュエリー）に関しては、「SPA体制の強化」を目的とした当社グループ全体の共通施策の実践に努めた結果、親会社㈱サダマツにおける同社製品での売上構成比は拡大基調となり、商品供給の効率化や製造原価低減による売上総利益の増加に貢献しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高5,686百万円（前年同四半期比5.9%増）、営業利益109百万円（前年同四半期比21.7%減）、経常利益73百万円（前年同四半期比33.6%減）、四半期純損失6百万円（前年同四半期純利益40百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は6,035百万円となり、前連結会計年度末に比べ226百万円増加いたしました。その要因は主に、受取手形及び売掛金が151百万円減少したものの、商品及び製品が285百万円、有形固定資産が77百万円増加したものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は4,732百万円となり、前連結会計年度末に比べ247百万円増加いたしました。その要因は主に、借入金の総額が283百万円減少したものの、社債が430百万円、未払金及び未払費用が44百万円、賞与引当金が20百万円、未払法人税等が19百万円増加したものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は1,303百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円減少いたしました。その要因は主に、配当金の支払22百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は21.4%となり、前連結会計年度末に比べ1.3ポイント減少いたしました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年8月期における通期連結業績予想につきましては、現時点では平成23年10月13日付「平成23年8月期決算短信」にて公表した数値からの変更はありません。業績予想に変更が生じる場合は速やかに公表いたします。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第3四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産の減価償却方法について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益への影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,309,974	1,270,829
受取手形及び売掛金	751,004	599,333
商品及び製品	2,353,061	2,638,458
原材料	243,893	325,262
繰延税金資産	27,527	36,068
その他	78,367	94,451
貸倒引当金	△3,816	△1,885
流動資産合計	4,760,011	4,962,519
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	210,004	300,422
減価償却累計額	△100,363	△134,601
減損損失累計額	△4,036	△4,036
建物及び構築物(純額)	105,604	161,785
機械装置及び運搬具	46,184	47,015
減価償却累計額	△27,697	△30,910
機械装置及び運搬具(純額)	18,486	16,105
工具、器具及び備品	138,354	132,681
減価償却累計額	△100,247	△83,576
減損損失累計額	△904	△904
工具、器具及び備品(純額)	37,202	48,200
土地	90,478	90,478
リース資産	58,926	82,078
減価償却累計額	△13,603	△24,196
リース資産(純額)	45,323	57,881
有形固定資産合計	297,095	374,451
無形固定資産		
リース資産	5,770	4,465
その他	16,457	14,379
無形固定資産合計	22,228	18,845
投資その他の資産		
投資有価証券	96,284	96,454
繰延税金資産	77,838	49,698
差入保証金	456,898	431,938
その他	109,612	100,296
貸倒引当金	△10,563	△9,086
投資その他の資産合計	730,070	669,301
固定資産合計	1,049,394	1,062,598
繰延資産		
社債発行費	—	10,349
繰延資産合計	—	10,349
資産合計	5,809,406	6,035,466

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	703,363	675,064
短期借入金	2,454,188	2,156,180
1年内償還予定の社債	70,000	100,000
未払金及び未払費用	355,649	400,604
未払法人税等	44,875	64,147
賞与引当金	34,000	54,050
その他	167,241	153,279
流動負債合計	3,829,318	3,603,326
固定負債		
社債	—	400,000
長期借入金	464,518	478,641
退職給付引当金	116,332	128,429
長期リース資産減損勘定	755	22
その他	73,771	121,769
固定負債合計	655,377	1,128,862
負債合計	4,484,696	4,732,188
純資産の部		
株主資本		
資本金	743,392	743,392
資本剰余金	550,701	550,701
利益剰余金	116,080	87,709
自己株式	△27,096	△27,167
株主資本合計	1,383,077	1,354,635
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△552	△382
為替換算調整勘定	△66,497	△64,906
その他の包括利益累計額合計	△67,049	△65,288
新株予約権	8,682	13,931
純資産合計	1,324,710	1,303,277
負債純資産合計	5,809,406	6,035,466

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年5月31日)
売上高	5,371,260	5,686,528
売上原価	2,130,145	2,239,758
売上総利益	3,241,115	3,446,770
販売費及び一般管理費	3,100,570	3,336,787
営業利益	140,545	109,982
営業外収益		
受取利息	1,377	1,654
受取家賃	857	857
為替差益	4,517	—
その他	6,695	1,639
営業外収益合計	13,446	4,151
営業外費用		
支払利息	39,978	34,295
社債利息	940	1,651
社債発行費償却	—	940
社債保証料	389	1,737
為替差損	—	1,297
その他	2,041	692
営業外費用合計	43,350	40,614
経常利益	110,641	73,519
特別利益		
固定資産売却益	29,104	—
特別利益合計	29,104	—
特別損失		
店舗閉鎖損失	4,995	—
減損損失	3,560	—
その他	316	902
特別損失合計	8,873	902
税金等調整前四半期純利益	130,873	72,616
法人税、住民税及び事業税	26,205	59,193
法人税等調整額	64,377	19,599
法人税等合計	90,582	78,793
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	40,290	△6,176
四半期純利益又は四半期純損失(△)	40,290	△6,176



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	40,290	△6,176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△117	170
為替換算調整勘定	△18,572	1,591
その他の包括利益合計	△18,689	1,761
四半期包括利益	21,600	△4,415
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,600	△4,415

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。